

骨炭

英名： Bone Charcoal

CAS No. 該当なし

JECFA No. 該当なし

別名： —

構造式： —

1. 基原・製法

ウシ (*Bos taurus* Linnaeus) の骨を炭化し、粉砕して得られたものである。主成分は、リン酸カルシウム及び炭末である。

2. 主な用途

製造用剤（無機塩類の吸着作用による糖液の脱色、水の濾剤等）

3. 安全性試験の概要

1) 急性毒性試験

経口投与の情報なし

2) 反復投与毒性試験

反復投与に関する情報なし

3) 変異原性試験

細菌（TA98, TA100, TA1536, TA1537, WP2 *uvrA*/pKM101）を用いた復帰変異試験は S9mix の有無に関係なく全て陰性。チャイニーズハムスター細胞（CHL）を用いた染色体異常試験は, S9mix の有無に関係なく全て陰性。BDF1 系雄マウスを用いた経口強制投与による *in vivo* 小核試験は骨髄小核誘発性陰性¹⁾。

復帰突然変異試験、染色体異常試験、及び小核試験の結果はすべて陰性であった¹⁾。

4) その他

その他試験に関する情報なし

5) 海外評価書における扱い

海外での評価情報なし

4. 食品添加物公定書の規格

規格あり

5. 結論

骨炭は、その基原・製法及び本質と、入手可能な安全性試験の情報（変異原性試験）

に鑑みて、人の健康影響に対する懸念はないものと結論された。

6. 参考資料

1. 財団法人食品薬品安全センター：平成 14 年度既存添加物に関する遺伝毒性調査 2003.